

# 工業試験場に、新たな施設

2018.11.20  
 OPEN

# 「ROBOLABO」が誕生！

道総研工業試験場では、道内食品加工メーカーにおけるロボット導入の担い手を育成するため、本道では初となるロボットSierの育成拠点として「食品ロボット実証ラボ(ROBOLABO)」を整備し、各種ロボットやセンサ等の実機を用いた実践的な研修を実施しているほか、製造現場のロボット導入に係る技術相談や技術指導など行っています。



人協働型  
 ロボット(双腕)



人協働型  
 ロボット(単腕)



スカラー型  
 ロボット



垂直多関節型  
 ロボット



完成イメージ(一部)

## 【食ロボSier育成研修】

- » スカラー型ロボット研修
  - ・研修内容：ロボット操作(デンソーウェーブ)、2D画像センサ、シミュレーション
- » 垂直多関節型ロボット研修
  - ・研修内容：ロボット操作(三菱電機)、3D画像センサ、シミュレーション
- » 人協働型ロボット研修・3Dプリンタ研修
  - ・研修内容：ロボット操作(安川電機、カワダロボティクス)、3Dプリンタ操作

お問い合わせ  
 ご相談

(地独)北海道立総合研究機構 産業技術研究本部 ものづくり支援センター  
 〒060-0819 札幌市北区北19条西11丁目 電話：011-747-2354(直通)



## ROBOLABOの概要（導入機器等の紹介）



【設備名】 スカラー型ロボット  
 【型式】 デンソーウェーブ製 HSR-065  
 【特徴】 水平方向にアームが動作するロボット。  
 平面3自由度、上下方向1自由度の計4自由度で構成され、特に水平方向の動きに特化し、高速に位置決めすることが可能。



【設備名】 垂直多関節型ロボット  
 【型式】 三菱電機製 MELFA RV-7FR  
 【特徴】 人の腕の構造に近いロボット。  
 多数のリンクと関節を直列に接続した形で構成され、動きの自由度が非常に高く、回り込む様な作業が可能。



【設備名】 人協働型ロボット（単腕）  
 【型式】 安川電機製 MOTOMAN-HC10DTハンドキャリータイプ  
 【特徴】 人と協働で作業することが可能なロボット。  
 外部から加わる力を検知してロボットが自動で停止する。  
 ロボットを直接持って教示する“ダイレクトティーチング”が可能。



【設備名】 人協働型ロボット（双腕）  
 【型式】 カワダロボティクス製 NEW MODEL NEXTAGE  
 【特徴】 人の上半身とほぼ同じ構造のロボット。  
 片腕6自由度ずつ、首2自由度、腰1自由度の計15自由度で構成され、単腕では不可能な複雑な作業が可能。



【設備名】 3Dプリンタ  
 【型式】 Raise3D製 Raise3D Pro2 Plus  
 【特徴】 FDM（熱溶解積層）方式による一般的な樹脂（PLD、ABSなど）の他に、ゴム系樹脂（TPU：熱可塑性ポリウレタン）の積層造形が可能。

- ・ 総事業費 8,500万円（うち機器整備 7,715万円）
- ・ 財 源 地域新成長産業創出促進事業費補助金（地域における中小企業の生産性向上のための共同基盤事業）
- ・ 主な機能 ロボットS I e r 育成・強化を目的とした研修運営  
 ロボット導入に係る総合支援機能（相談窓口、技術支援、研究開発）

